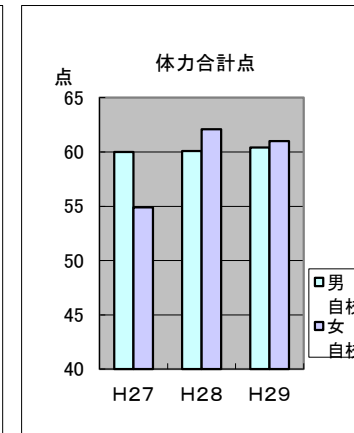
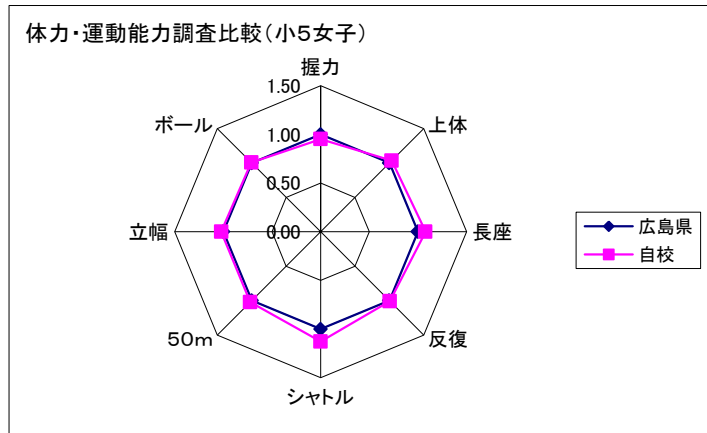
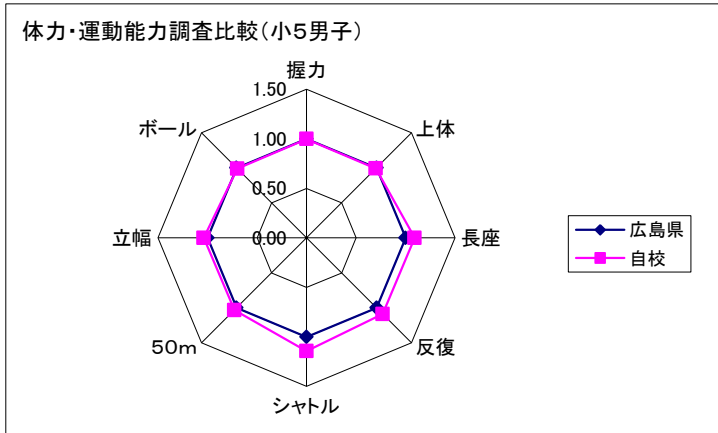


男子の体力合計点 学校 60.4 点 県平均 56.88 点

女子の体力合計点 学校 61.0 点 県平均 58.18 点



H29体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)  
 ・毎日業間に行っている3分間走の取組に加え、「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」のダッシュリレーに体育朝会で取り組んだ。その結果、男子6学年中3学年、女子6学年中4学年が県平均を上回っている。

②ソフトボール投げ(中学校区の課題種目)  
 ・男子6学年中3学年、女子6学年中3学年が県平均を上回っている。高学年は県平均、全国平均を上回っており、低学年は県平均、全国平均に届いていない傾向がある。  
 低学年はボール運動に取り組む機会が少なく、外遊びでもボール投げをしている児童は少ない。ボールを遠くに投げる力が付いていない児童が多いと考えられる。

③握力(自校の課題種目)  
 ・県平均を上回っているのは、男子3学年、女子2学年であった。1～3年の男女は、すべて県平均に届いていない。  
 朝の会で「わくわく1分間体操」に取り組んでいるが、成果として表れていない。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・体育の授業の中で短い距離を全力で走る運動を取り入れ、正しいフォームでスピードを付ける練習をする。ハンディ走なども取り入れ、動機付けを行う。 ・引き続き、「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」のダッシュリレーや長座ダッシュリレーに取り組む機会を多くし、全力で走る場を設定する。
②中学校区の課題種目 (ソフトボール投げ)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・低学年を中心に、ロング昼休憩や学級遊びタイムにボール運動やボール遊びを奨励する。 ・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」のシャトルスローリレーに取り組み、物を投げるときの体重移動のさせ方や腕の振り方を意識させる。
③自校の課題種目 (握力)	具体的な取組内容 ・引き続き、朝の会での「わくわく1分間体操」を行い、両手を伸ばして掌を開閉する運動に取り組む。特に、1～3年では徹底して行う。 ・体育の授業の始めには、鉄棒や登り棒、雲梯を使った準備運動やサーキットトレーニングを取り入れ、物を握って運動する機会を増やす。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)